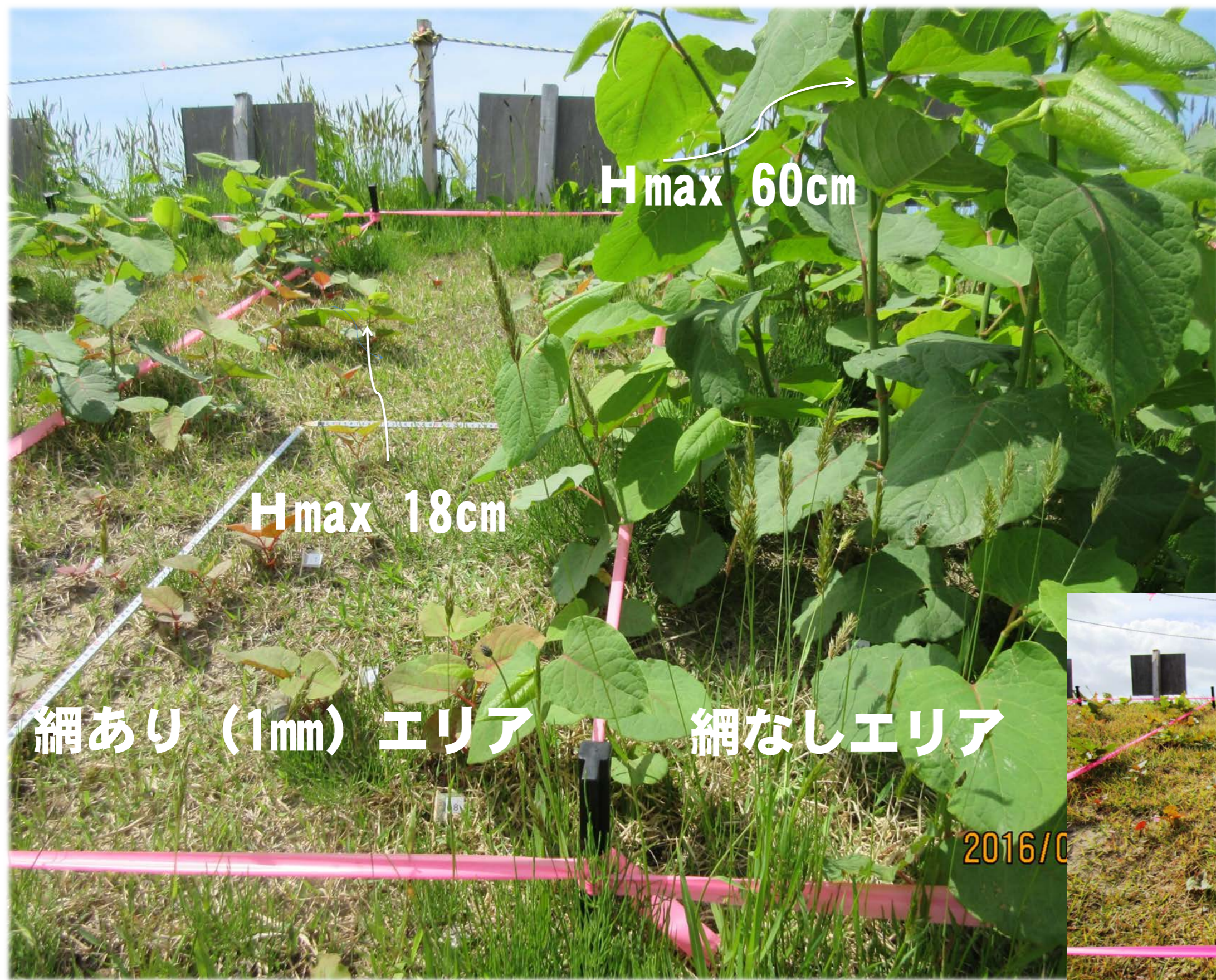


観察記録・説明等



【2016. 5. 13】

・左の写真は昨年の8月11日にイタドリが繁茂する堤防法面の表層を5cm程度を剥ぎ、新しい土を補充し整形してから野芝を張ったものです。左の網ありエリアのイタドリの最高草高は18cm(昨秋の最高値は12cm)で、網なしエリアの最高草高は60cm(昨秋の最高値は45cm)となっていました。

網ありエリアでは草高が10cm~19cmが10本、9cm以下が31本でした。網なしエリアは20cmから50cmまでが45本、51cm以上は14本となっていて、完全に繁茂状態になっています。

・昨秋はイタドリの抑制率(草量ベース)は95%でしたが、網なしエリアの草量が大幅に増加したため、現時点でも抑制率は昨秋よりアップすることになります。

網ありエリアでは除草しなくても堤防の点検ができる状態に対して、網なしエリアでは除草が必要不可欠なことがわかつています。

・下の写真は昨秋のもですが、半年経ってイタドリの草量の違いや、ジオネットのイタドリの成長抑制効果がさらに顕著になったと言えます。

【2015. 10. 8撮影】

